

横浜国際プール ESCO 事業提案審査の講評

脱炭素に向けた取り組みのモデルケースとして、再生可能エネルギーの活用を必須条件とした提案を広く募りました。

2グループから応募があり、事前に公表している「ESCO 事業提案審査要領」に従い、提案内容を審査するとともに、公正かつ客観的に評価いたしました。

その結果、日本ファシリティ・ソリューション株式会社、川本工業株式会社、NEC キャピタルソリューション株式会社、カネカソーラー販売株式会社グループによる提案を最優秀提案とし、東芝エレベータ株式会社神奈川支社、みずほ東芝リース株式会社グループの提案を優秀提案としました。

日本ファシリティ・ソリューション株式会社グループの提案は空冷ヒートポンプチャラーの導入、空調機のインバータ制御導入、照明の LED 化及び大規模な太陽光パネルを設置するものでした。

東芝エレベータ株式会社神奈川支社グループの提案は熱回収ヒートポンプの導入、照明の LED 化及びセンサー調光型ソーラーLED 照明を設置するものでした。

両グループともに、新たに導入した設備で未利用エネルギーを活用する工夫のある提案となっておりますが、日本ファシリティ・ソリューション株式会社グループの提案が施設全体の省エネルギー率、二酸化炭素排出量及び光熱水費の削減効果に優れており、高い評価となりました。

最後に多大な労力をかけ、知識を活かした貴重なご提案をいただいた応募者に対し審査委員を代表して心からお礼申し上げます。

令和3年10月6日

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会
委員長 沖 裕壮